

第*学年*組 英語科学習指導案

指導者 千葉 幸子

1 単元名 Writing Plus1 学校のホームページ

2 目標

- 結束性と一貫性を意識して、読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (言語活動への取組))
- 結束性に関する知識を活用して、自分の考えや事実を正しく書くことができる。
(外国語表現の能力 (正確な筆記))
- 学校での学習や活動について、まとまりのある文章を書くことができる。
(外国語表現の能力 (適切な筆記))
- 結束性と一貫性について理解して、まとまりのある文章を書くための知識を身に付けている。
(言語や文化についての知識・理解 (言語についての知識))

3 指導にあたって

(1) 単元観

本単元は、メモをもとに必要な情報を整理して、学校の紹介文を書き、ホームページ上で伝えるという内容である。学校での学習や活動についての紹介文を相手に分かりやすく書くために、文の一部を変えて羅列するだけでなく、内容的なまとまりのある文章を書く力を育てることができる単元である。

(2) 生徒の実態

自分の考えや事実について、英語でまとまりのある文章を書くことに関する実態調査(平成*年*月*日実施、第*学年*組*人)を実施した。その結果、必要に応じて、代名詞を活用した生徒は*人、接続詞を活用した生徒は*人だけであった。内容的なまとまりにおいては、*人の生徒が文の一部を変えて羅列しただけであったことから、まとまりのある文章を書く力を育てることが必要であると考える。

(3) 指導観

目的を持ってまとまりのある文章を書くために、学校での学習や活動についてのShow & Tellを位置付ける。Show & Tellを行うまでの過程において、文と文のつながりを考える学習を四つの段階で学習過程に位置付ける工夫をし、段階的に指導する。第一段階として、比較して読む活動を通して、結束性について理解する。第二段階として、提示された文に代名詞や接続詞を活用して結束性のある一つの文を付け加えて書く。第三段階として、文章を推こうする活動と並べ直す活動を通して、一貫性について理解する。最後に、第四段階として、Show & Tellの原稿を作成し、推こうする活動を通して、一貫性のある文章を書く。これらの活動を通して、まとまりのある文章を書く力を育てたい。

4 キャリア教育の視点

- グループ学習に協力して取り組み、自分の考えなどを積極的に伝えようとしている。(かかわる力)
- 読み手が理解しやすいように、Show & Tellの原稿を書いたり、書き直したりしている。
(やりぬく力)

5 単元の学習計画(6時間扱い)

次	時	主な学習活動	関	表	理	言	評価規準(評価方法)
一	1	・モデルとなる文章とまとまりに欠けた文章を比較して読む。				◎	・結束性について理解している。(ワークシート)
二	1	・パターン・プラクティスに取り組む。 ・提示された文に結束性のある一つの文を付け加えて書く。		◎		○	・結束性に関する知識を活用して、自分の考えや事実を正しく書くことができる。(ワークシート) ・結束性について理解している。(ワークシート)
三	1	・パターン・プラクティスに取り組む。 ・まとまりに欠けた文章を推こうする。 ・切り離された一文一文を適切な順序に並べ直す。				◎	・結束性と一貫性について理解して、まとまりのある文章を書くための知識を身に付けている。(観察、ワークシート)
四	1	・アヤトウス・カルタの手法を用いて考えをまとめる。 ・Show & Tellの原稿を作成する。 ・各自で原稿を推こうする。	○			◎	・学校での学習や活動について、まとまりのある文章を書くことができる。(ワークシート) ・一貫性を意識して、読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。(観察、ワークシート)
	2	・グループで原稿を推こうする。 ・ペアで発表練習をする。 ・グループでShow & Tellを行う。 ・相互評価を行う。				◎	・結束性と一貫性について理解して、まとまりのある文章を書くための知識を身に付けている。(ワークシート、後日ペーパーテスト) ・学校での学習や活動について、結束性と一貫性に関する知識を活用して、まとまりのある文章を書くことができる。(ワークシート)
	③ 本時	・グループで添削された原稿を推こうする。 ・原稿を清書する。 ・グループの代表者がクラス全体でShow & Tellを行う。 ・自己評価を行う。				◎	・学校での学習や活動について、結束性と一貫性に関する知識を活用し、一貫性の高いまとまりのある文章を書くことができる。(ワークシート、後日ペーパーテスト)

6 本時の学習

(1) 目標

学校での学習や活動について、結束性と一貫性に関する知識を活用し、一貫性の高いまとまりのある文章を書くことができる。

(2) 準備・資料

Show & Tell原稿シート 相互評価カード 自己評価カード 英和辞書 和英辞書

(3) 展開

配時	学 習 活 動	指導上の留意点と評価 (◎は評価) キャリアの視点 (☆)				
2 25	<p>1 本時の課題を確認する。</p> <p>2 グループで原稿を推こうし、清書する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お互いに原稿を読み合い、書き直して、まとまりのある文章にしよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①教師により添削された原稿を読み直し、まず各自で添削された点について考え、原稿を推こうする。</p> <p>②グループで、一人ずつの原稿について全員で読み合う。</p> <p>③既習の代名詞や接続詞に関する知識を活用して、教師により添削された点や一貫性のある文章にするために改善した方がよいと思われる点などについて、アイデアを出し合い、推こうを進める。</p> <p>④グループで出し合ったアイデアを参考に、再度各自で原稿を推こうし、一貫性の高いまとまりのある文章に書き直す。</p> <p>⑤原稿を清書する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のグループでのShow & Tellの発表を振り返らせ、まとまりのある文章の表現方法などについて確認させる。 ・「分かりやすい文章とは、どんな文章だろう。」と改めて問いかけ、活動の見通しを持たせる。 ・添削した原稿を返却し、結束性と一貫性を意識しながら、必要に応じて代名詞や接続詞を活用するなどの工夫によって、一貫性の高いまとまりのある文章となるよう、まず各自で、次にグループで原稿を推こうさせる。 ・教師による添削はコメントやミスのチェックの仕方を工夫することによって、生徒自身が既習の代名詞や接続詞に関する知識を活用しながら、まとまりのある文章について考えられるようにする。 ・学校での学習や活動について、書きたいことを英文にすることができない生徒や、結束性と一貫性を意識しながらまとまりのある文章を書くことができない生徒には、表現ヒントカードを提示するなどし、グループで推こうが進められるように助言する。 ・グループでの推こうの話合いに積極的に参加していない生徒がいまいか観察し、全員が話合いに入れるように支援する。 ・推こうが滞っているグループには、推こうのポイントとなる結束性と一貫性に注目させ、必要に応じて適切かつ効果的に代名詞や接続詞を活用するなどしながら、一貫性の高いまとまりのある文章を書くことができるよう助言する。 <p>◎学校での学習や活動について、結束性と一貫性に関する知識を活用し、まとまりのある文章を書くことができたか。(外国語表現の能力(適切な筆記))〈ワークシート、後日ペーパーテスト〉</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">十分満足 (A)</td> <td style="width: 50%;">おおむね満足 (B)</td> </tr> <tr> <td> <p>話題がそれることなく、学校での学習や活動について内容の面につながる文章を書くことができる。</p> </td> <td> <p>話題がそれることなく、学校での学習や活動について内容の面につながる文章をおおむね書くことができる。</p> </td> </tr> </table> <p>☆読み手が理解しやすいように、一貫性の高い文章になるように書き直している。(やりぬく力)</p>	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	<p>話題がそれることなく、学校での学習や活動について内容の面につながる文章を書くことができる。</p>	<p>話題がそれることなく、学校での学習や活動について内容の面につながる文章をおおむね書くことができる。</p>
十分満足 (A)	おおむね満足 (B)					
<p>話題がそれることなく、学校での学習や活動について内容の面につながる文章を書くことができる。</p>	<p>話題がそれることなく、学校での学習や活動について内容の面につながる文章をおおむね書くことができる。</p>					
15 8	<p>3 グループの代表者がクラス全体でShow & Tellを行う。</p> <p>4 自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者以外の生徒には、発表者へのコメントや発表内容について評価させる。 ・自己評価を行わせ、各自の達成度や課題について確認させる。 				